

会 議 録

会議の名称	平成27年度第2回行田市下水道事業運営審議会
開催日時	平成28年3月10日(木) 開会：午後1時30分 ・ 閉会：午後3時30分
開催場所	水道庁舎 2階第3会議室
出席者(委員) 氏名	吉野修 大河原梅夫 田尻要 中山毅 山崎時敬 鈴木正夫 相原香保留 島田ユミ子 白鳥拓治
欠席者(委員) 氏名	なし
事務局	小林都市整備部長 長谷見下水道課長 高橋主幹 多田主査 本間主任 木村主査
会議内容	(1) 会長・副会長の選出について (2) 「社会資本総合整備計画の事後評価」について (3) 「下水道アドバイザー会議」の承認について (4) 「行田市合流式下水道緊急改善事業の事後評価」について
会議資料	(資料名・概要等) ・ 社会資本総合整備計画の事後評価について ・ 行田市合流式下水道緊急改善事業の事後評価について
その他必要 事項	傍聴者なし

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	<p>市民憲章の唱和</p> <p>1 開会</p> <p>配布資料の確認</p> <p>2 都市整備部長あいさつ</p> <p>小林都市整備部長あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>委員自己紹介</p> <p>事務局紹介</p> <p>（1）会長・副会長の選出について</p> <p>改選後最初の審議会につき、会長・副会長が未選出のため、事務局より吉野委員を仮議長として選出する。</p>
仮議長	<p>会長・副会長の選出は、委員の互選によるとあるがいかがするか。事務局案はあるか。</p>
事務局	<p>事務局案として、市議会議員から会長を、学識経験者から副会長をお願いしたいと考える。</p>
仮議長	<p>ただいまから、会長、副会長を選出する。事務局は、退出願う。</p> <p>（事務局退室）</p> <p>－会長・副会長の選出－</p> <p>事務局は、入室願う。</p> <p>（事務局入室）</p> <p>審議の結果、大河原委員に会長の職を、田尻委員に副会長の職をお願いすることとなった。</p> <p>仮議長の職を解かせていただく。</p>
会長	<p>会長あいさつ</p>
副会長	<p>副会長あいさつ</p>
事務局	<p>本日は、委員定数9人に対し出席者は9人となっており、行田市下水道運営審議会条例第6条第2項の規定により委員の過半数が出席しており、本審議会は成立していることを報告する。</p>

<p>会長</p>	<p>また、本日の会議は、公開を原則とする。公開については、市ホームページ、市政情報コーナー等で公開する。なお、本日は、傍聴人がいないことを報告させていただく。</p> <p>本日は、市長より諮問された議案はないため、協議会形式で進行させていただく。</p> <p>それでは、議事の進行を審議会条例第6条の規定により大河原会長にお願いする。</p> <p>(2) 社会資本総合整備計画の事後評価について、事務局へ説明を求める。</p>
<p>事務局</p>	<p>資料「社会資本総合整備計画の事後評価について」プロジェクターを使用し説明。</p>
<p>会長</p>	<p>ご意見、ご質問はあるか。</p>
<p>白鳥委員</p>	<p>事後評価の対象となる交付金は、下水道課に対して交付されるのか。それとも、行田市都市整備部全体に対してか。</p>
<p>事務局</p>	<p>本整備計画は、下水道事業に関しこの計画となっているため、計画内に下水道事業計画以外の事業が無く、交付金の用途は、下水道事業に特定されている。よって公園の整備等には使用できない。</p>
<p>白鳥委員</p>	<p>指標である下水道処理人口普及率には、どのような意味があるのか。この数値に、実効性はあるのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>社会資本総合整備計画の目標設定値として、分かりやすく示す必要性があり、この数値が用いられている。次の計画では、整備面積や延長などの数値を目標設定値とする。</p>
<p>山崎委員</p>	<p>富士見町1丁目や長野1丁目の下水道整備は、いつごろ行う予定なのか。計画はあるのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>計画はあるが、予算の都合上、未整備区域すべてを直ちに整備することは難しいため、具体的な段階には至っていない。</p>
<p>吉野委員</p>	<p>下水道課の他に、社会資本整備総合交付金を受けている部署はあるか。また、下水道事業への交付金はどれぐらいか。</p>
<p>事務局</p>	<p>交付金を受けている主な部署は、下水道課の他に、建築課、道路</p>

<p>吉野委員</p> <p>事務局</p>	<p>治水課、都市計画課がある。</p> <p>平成27年度下水道事業への管渠整備に係る交付金は、約6,500万円である。</p> <p>5ヵ年計画とあったが、平成22年度から平成26年度までの期間における交付金額は、どれぐらいか。</p>
<p>吉野委員</p> <p>事務局</p> <p>小林部長</p> <p>会長</p>	<p>全体の事業費が773百万円で、交付金の対象となる事業費の半分が交付金である。</p> <p>下水道課や建築課等の交付金の申請は、1つの課が取りまとめて行うのか。</p> <p>各課で社会資本総合整備計画を策定し、申請も各課で行っている。</p> <p>複数の課が一体で行っている「ふるさとづくり事業」は、各課で交付金の申請を行うが、事業に要する全体の交付金は調整している。</p> <p>ご意見、ご質問は以上とする。</p> <p>— 10分間の休憩 —</p>
<p>事務局</p> <p>会長</p> <p>事務局</p>	<p>続いて、(3) 下水道アドバイザー会議の承認について事務局へ説明を求める。</p> <p>国で定めた、社会資本整備総合交付金交付要綱の運用により、合流式下水道緊急改善事業の事後評価の実施は、評価の透明性、客観性を確保するため、「下水道アドバイザー会議」を開催し、学識経験者等第三者の意見を求めることが必要とされている。</p> <p>そのため、「行田市合流式下水道緊急改善事業の事後評価」を「下水道アドバイザー会議」として議事を進める承認を求める。</p> <p>異議なしのため承認する。「行田市合流式下水道緊急改善事業の事後評価」に限り、「下水道アドバイザー会議」とみなして議事を進行する。</p> <p>続いて、(4) 行田市合流式下水道緊急改善事業の事後評価について事務局へ説明を求める。</p> <p>資料「行田市合流式下水道緊急改善事業の事後評価について」プロジェクターを使用し説明。</p>

会長	ご意見、ご質問はあるか。
吉野委員	モニタリング調査は、シミュレーションにより検証を行うとのことだが、国からシミュレーションに用いるソフトウェアは指定されているのか。
事務局	国から指定されたソフトウェアの中から1つを選び、シミュレーションを行った。
吉野委員	元荒川への放流地点における実測値は計測しているのか。
事務局	元荒川での観測は、県の施設である元荒川水循環センターで行っており、本市では、行っていない。
吉野委員	合流式下水道を改善することで、忍川の水質の向上があったのか。忍川の水質は観測したのか。
事務局	合流式下水道を改善したことで、忍川へ放流する汚濁負荷量や処理下水の放流回数が減り、その結果シミュレーションにもあるように水質の改善にも寄与した。下水道課は、忍川の水質観測を担当していないが、担当課に確認する。
相原委員	現在行っている下水道工事は分流式か。また、合流式を分流式に切り替える予定はあるか。
事務局	現在は、分流式の下水道を整備している。また、合流式を分流式に切り替える予定はない。
小林部長	分流式への切り替えは、下水道本管の入れ替えの他にも、家庭内の排水設備を入れ替える必要があり、現実的には難しい。
会長	以上で議事のすべてが終了となったので、議長の職を下りる。
事務局	4 閉会 都市整備部下水道課長 長谷見課長